

# みやぎ・復興の歩み ココロアルバム

# 5

## Contents

- はじめに—— p.2
- 東日本大震災の概況—— p.3
- 宮城県震災復興計画—— p.5
- 復興の進捗状況—— p.6
- 地域の復興状況（気仙沼・本吉エリア）—— p.13
- 地域の復興状況（石巻エリア）—— p.17
- 地域の復興状況（仙台沿岸エリア）—— p.21
- 地域の復興状況（内陸エリア）—— p.25
- みやぎの復興の歩み（年表）—— p.27
- 宮城県への支援状況—— p.29
- 被災者支援情報—— p.30

この冊子は、東日本大震災から5年が経過した宮城の復興の様子と、復興に向けた地域の取り組み（宮城県復興応援ブログ「ココロプレス」に掲載）を抜粋し、まとめたものです。

### 【右写真】

現在、大規模なかさ上げ工事が進められている南三陸町。住宅や公共施設を安全性の高い場所に配置し、かさ上げ後の土地には、商業施設等を集約（平成28年度中に開業予定）し、にぎわいのあるまちを目指します。



未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から5年が経過しました。

これまで、多くの皆さまからのご支援、ご協力に支えられながら、県民が一丸となって復興に向けて取り組んでまいりました。改めまして、心から感謝申し上げます。

県内では、JR石巻線と仙石線の全線復旧や常磐自動車道の全線開通により、沿岸被災地の復興に向けた交通基盤の整備が進んだほか、女川町や岩沼市、石巻市などでまちびらきが宣言され、被災したまちに、にぎわいが戻り始めております。また、各地で災害公営住宅が完成し、被災された方々の入居が始まっており、平成28年度末までには、約9割が完成する予定であるなど、震災からの復興は着実に進展しているところであります。

一方で、今もなお、県内外で多くの方々が仮の住まいでの不自由な生活を余儀なくされております。県では、避難生活が長期化している被災者の方々に対して、引き続き心身のケアに取り組むとともに、今後、応急仮設住宅から災害公営住宅などへの移転が進んでいく中で、コミュニティの再生など新たな課題に全力を挙げて取り組んでまいります。

「みやぎ・復興の歩み5」は、平成27年3月から1年間の県内各地の復興の様子や復興に向けて取り組む方々の思いなどを取りまとめたものであります。

復興はまだ道半ばではありますが、多くの皆さまに被災地の今の姿をご覧いただき、引き続き被災地へのご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

宮城県知事 村井 嘉浩

